

「教職員からの意見・提案」より

現場で働く教職員のみなさまから意見・提案を受け付けています！



大阪市教育振興基本計画（令和4～7年度）では、各学校園の実情に応じたきめ細かな支援策の推進や一体性を持った教育行政の運営に向け、広く教職員から**意見**や**提案**を受けることとしており、意見や提案については、教育長・教育委員へ伝え、**教育委員会として対応策**等を検討することになっています。これまでにいただいた意見・提案と対応策について、いくつかご紹介します。

意見・提案(要旨)

本校では、教育実習期間後、資質・能力に将来性のある学生を支援サポーターとして登録をしています。学校と行政のパイプをさらに太くし、それらの人材を学校側が報告し、行政管理ができるより良いシステムを構築できれば、採用前から大阪市の人材確保ができると考えます。

意見・提案(要旨)

職員のトイレ清掃や印刷室、職員室のごみ処理、職員室の水回りの掃除、コピー用紙の補充をしていただく人材を配置してほしい。



教育委員会の対応

教育委員会の対応

提案していただきました教育実習後にサポーターとして登録する手法は好事例と捉え、令和4年度から行っている教育実習事前研修会でサポーターの紹介を行い、登録の勧奨を行いました。

(令和4年度1学期)

スクールサポートスタッフへコピー用紙の補充や学習プリント等の印刷、配布準備など教員の事務業務の補助を命ずることは可能です。(人材確保の関係から概ね2割の学校では未配置となっており全校配置を目指して取組中です。)但し、職員室等の共用部分の清掃については職員間で割り振る等の対応をお願いします。

(令和4年度1学期)

※現在は約97%の学校に配置されています。

意見・提案の手続きについて

・いただいたご提案については真摯に受け止め、検討していきたいと考えていますので、制度の趣旨（大阪市内立学校園における教育の改善等に向けた意見・提案）を踏まえて、課題や改善策等について、簡潔に分かりやすく記載していただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆意見・提案、及びそれに対する対応策については、大阪市のホームページに公表しています。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000553208.html>

令和5年度1学期受付のご意見より（要旨）

保護者の過剰な要求等への対応について、教育委員会付きの弁護士が、アドバイザーとして法的に問題ないかを助言したり、学校と保護者の間に入って対応したりすることで、学校現場はとても助かると思います。



大阪市スクールロイヤーSchool Support Expert Team(SSET)事業をご活用いただくことで、学校園で発生する様々な事案対応及び保護者対応等について、弁護士をはじめとした各種専門家へ相談のうえ助言を得たり、連携し対応策を検討したりすることができます。

大阪市スクールロイヤー School Support Expert Team (SSET) 事業とは？

大阪市スクールロイヤー事業では、学校園の課題について、弁護士、医師、臨床心理士・公認心理師、ソーシャルワーカーといった様々な職種の専門家と連携した学校園支援制度を構築しています。

令和元年度より実施しており、学校園で発生する様々な事案対応及び保護者対応等について、弁護士をはじめとした各種専門家へ相談のうえ助言を得たり、連携し対応策を検討したりすることができます。また、学校園の対応で解決が図られない場合、担当弁護士が、学校園の代理人となり、保護者と対峙するなど対外的な活動を行うことはできませんが、スクールロイヤーとして中立な立場において、学校園と保護者の関係調整を行うこともできます。

こんなとき、
SSET の活用を！

法的には
どうなんだろう？

保護者対応、どうしよう…

- ①管理職の先生に報告・相談
- ②大阪市スクールロイヤー事業の活用を検討
- ③管理職が担当指導主事に相談

担当指導主事が
弁護士へ相談

学校園が直接
専門家へ相談

法律相談窓口
(月2回)

電話・メール相談
(適宜)

学校派遣
対応等について専門家
に相談・対応策の検討

- ・申請書の提出
- ・派遣要請決定
- ・日程調整

(例)

- ・いじめ対応（児童生徒への指導・支援や保護者への対応）について
- ・児童生徒への指導がうまくいかない場合
- ・学級や学年に「荒れ」が見られる場合
- ・学校の対応について理解を得にくい保護者への対応について

研修会や授業も！

教職員向け校園内研修の講師や、児童生徒向け出前授業の講師として、弁護士等の専門家を派遣することもできます。

問題が深刻化する前に
積極的な活用を！！

